修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝未紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幌ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

閑古鳥なく旅館街

〝東京〟は素通り

悪条件かさなって

本郷地区

修学旅行の生徒たちで賑わう東京・本郷の旅館街はここ二、三年いらい宿泊する学校がめっきりと減ってきた。都市公害、交通難、乏しい見学地などが東京を敬遠するおもな原因。多くの学校は箱根、富士五湖方面に宿泊して東京は半日コースの〝素通り〟ていどにしているのが実情で、このあおりを受けた本郷地区の旅館街は青息吐息で、最近転廃業するものが続出している。

現在の東京は、公害や交通事情悪化のほか、魅力ある見学地が少なくわずかに皇居前、科学技術館国会議事堂、東京タワー、羽田空港というていど。近代的な建物も生徒たちにとってはさほど珍しくない。

さらに新幹線専用電車の利用によって時期的に集中するため、従来のように年間を通じての平均がとれなくなったのも原因の一つといわれている。

この修学旅行先の〝素通り〟で最も大きな影響を受けたのは本郷の旅館街。

ことしの修学旅行生の入り込みは昨年の約四割減といわれ、そのためいままで五十軒あった団体旅館のうち数軒が営業不振で看板を降ろしてしまった。さらに最近では大手の一旅館が転業するだろうという噂まで飛んでいる。

同地区の泣きどころとしてに①一部を除いて施設が古い②バスなどの駐車が困難③従業員の不足などがあげられている。

このような最悪状態に追い込まれた旅館組合では昨年、幹部総出でキャラバンを組み、遠く東北、北海道方面へ〝勧誘〟に出かけたが、今のところ大きなハネ返りはみられない。

建物をデラックスにしたいと思っても立地条件が悪く、また多額の資金繰りも意の如くまかせず、いろいろな悪条件がからみ合っているのが現在の本郷旅館街である。

あおぞら号近畿地区運営協　あおぞら号近畿地区運営協議会では十月二十日午前十時から大阪市天王寺区の近鉄本社で総会をひらく。四十八年度の「あおぞら号」乗車申込みについての協議と委員改選を行なう。

琵琶湖コースの説明会

滋賀県主催で開く

滋賀県と同修学旅行誘致促進協議会では全修協などの後援で〝琵琶湖コース〟の説明会を九月二十八日埼玉県大宮市のけんぽ会館、翌二十九日は千葉県船橋市の明治生命ビルでそれぞれ午後一時から開いた。大宮市では滋賀県河内義明副知事、船橋市では同大島健二商工労働部次長、全修協から早川広報部長が出席して挨拶を述べた。映画「近江の文化財」やスライドの上映をはじめ郷土史家・渡辺守順氏の講演「近江の歴史と文化」のほか、施設別による相談コーナーで質疑に応じた。

拝観・入場料など

奈良市内の社寺①

奈良市内の社寺拝観料、入場料は次の通り。（十月一日現在）

▽東大寺大仏殿　三十名以上、高中とも六十円。
▽興福寺・国宝館　三十名以上高中とも五十円。
▽国立博物館　二十名以上、高校十五円、中学十円。
▽西大寺　三十名以上、高校四十円、中学二十円。
▽般若寺　三十名以上、高校五十円、中学四十円。

全修協だより

本年度の地区会議は次の通り決定した。北海道・東北＝十月二十七日（水）福島市高湯温泉・きびたき荘。関東＝十月二十九日（金）栃木県鬼怒川温泉・きぬ川館本館北陸・東海＝十一月四日（木）福井県芦原温泉・芦泉荘。中・四国＝十一月九日（火）広島市・みゆき会館。九州＝十一月十一日（木）大分県別府温泉・鶴見園。各会場とも午後一時三十分から。議題は①修学旅行の改善運動②研修旅行の計画と実施。③そのほか。県支部長、協力機関などのほか本部から山本理事長、白滝事務局長各担当部長らが出席。

風紋

国学院大学の樋口清之博士を中心とする大和文化会という会があって、十月の例会では「日本古代史の諸問題」という講演のあと、四万点に及ぶ同大学の考古学資料室と収蔵庫を見学した▼これは樋口氏をはじめ関係者が収集寄贈した貴重な古代史の生き証人といってよいものばかりである。同氏は、地下に埋まっている資料をさがしだし、歴史を組みたてる気の遠くなるような経済力と体力の消耗戦の労苦と、一枚一枚古代史のベールをはいでいくよろこびを語り「皆さんがかつて学んだものと違った古代史を資料陳列室で見てほしい」と結んだ▼先土器時代より縄文時代弥生時代、古墳時代にかけての古代人の生活が想われる遺品がびっしりとある。愛媛県鹿ノ川の石灰岩洞くつから出た人間の化石断片は興味深かった。この人骨は、ミシガン大学でハリマン法によって調べたところ十五万年前のもの、炭素測定法によるとしても、日本人の歴史は数万年以上さかのぼらねばならぬことになった▼たま問題の耶馬台国の女王卑弥呼が魏王からもらったという三角縁神獣鏡をじかに見るのは、三世紀の古代に自分がいるような気持に誘いこまれる。テレビの番組に「タイム・トンネル」によって現代から中世とか古代へ時を逆行して、歴史上の人物と大活劇を演ずるのがあったが、考古学資料陳列室へ入ると、たちまち文献以前の日本の古代への「旅」ができるのだからすばらしい▼この十一月にWOOTP（世界教員団体連合）アジア部会では、台湾会場で「異なる文化間の教育研修として旅行」のセミナーをひらく。これは地域の異なる文化をとりあげたものだが、時代の異なる文化間の研修も人間の進歩のため極めて重要だ▼修学旅行で東大寺の大仏などを見るのは、仏像の鑑賞よりも、古代国家への「タイム・トンネル？」として意義がより重要であろう。

研修旅行

多シーズン制採用

海外ふくめてコースもひろげる

全修協企画の教職員研修旅行はことしの夏ですでに十五回を実施し、今では教育界の年中行事として定着したが、第十六回を迎えるにあたり教育界や既参加者の要望にこたえ〝多シーズン制〟の採用に踏み切った。とりあえず来年は春季の一コースを実施することになり現在具体案を検討中である。今後はさらに実施期の拡充と海外をふくめてのコース増や募集地区の拡大などを行なう方針である。

教職員研修旅行の既参加者はすでに七万名に達し、すぐれた内容が教職員間で大好評を受け、各都道府県教委、小中高校長会、教職員組合、学生協、互助組合など公的機関が全面的に後援、県によっては補助金を出して助成しているところもあるほど。

こんどの計画は教育界の要望にそうために着手されたもので、先ず来年の三月下旬、三泊四日の予定で山陽新幹線開通を利用しての山陰、四国方面が候補にあげられている。この時期は現場の春休みにあたるところから夏季の旅行にたいし〝中旅行〟ともいうべきもの。もちろん現在のように豊富な研修行事、低廉な会費、安全輸送の三拍子そろった全修協が誇る計画として早くも大きな反響をよびおこすものとみられる。

この〝中旅行〟にたいして、さらに一、二泊の小旅行も随時実施しようと全修協中央研修部では秘策をねっている。また、日教組のヨーロッパ教育事情視察も、ことし続いて全修協の主催で行なうほか、その他の海外旅行にまでひろく発展させようという。

来年二月から

48年度の計画

関修委の運営委開く

新幹線は10万名に

関東地区中学校修学旅行委員会では第五十一回運営委員会を十月五日午前十時から東京・新宿の都教育会館で開いた。戸田俊雄会長（市川第四中学校長）前原忠吉（浦和岸中学校長）斉藤五朔（水戸第三中学校長）両副会長、高田福松運営委員長（幸手中学校長）大越恩子男運営副委員長（宇都宮晃陽中学校）椎原大三郎（沼田中学校長）荒幡義輔（本太中学校長）白滝未紀（全修協事務局長）高橋儀八（全修協参与、関修委事務局長）早川泰雄（全修協広報部長）の各運営委員、藤村寧（水戸三中、茨城県修旅委事務局）伊沢喜二（宇都宮市陽西中、栃木県修旅委事務局）氏らが出席。

戸田会長、高田運営委員長の挨拶があったあと白滝運営委員は、このほど全修協研究部長に就任した岩崎武夫氏を紹介、運営委員として推せんしたい旨提案あり、満場一致で可決した。

つづいて議題に入り、①四十八年度の関西方面修学旅行の国鉄輸送について各県から次の通り報告があった。

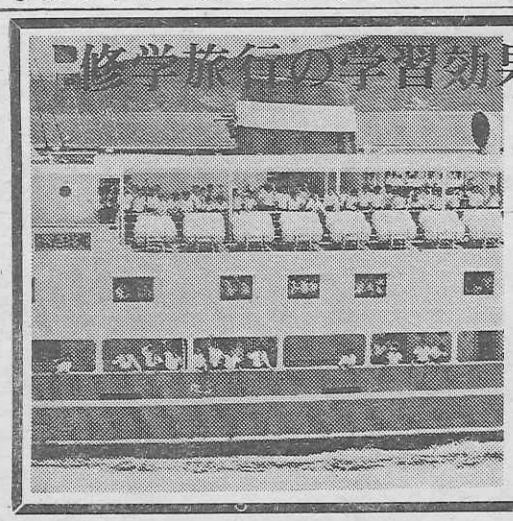
【ひかり】群馬二十二校三千五百名、茨城三十五校七千七百十四名、千葉六十五校一万四千三百四十六名、埼玉二百三十二校四万八千九百十九名、栃木七十七校一万五千五百五十一校、計四百四十二校八万九千五百三十五名。（栃木は二十四校、約二千三百名が未報告）

【わかくさ】栃木三十五校六千百八十四名。このうち宇都宮二千百十名、小山千二百十五名、芳賀郡二千百八十三名の計五千四百八名の約半数は東京駅までのつなぎ輸送が円滑に行なわれれば新幹線を希望しているむね報告されたが四十八年度は東京駅の構内改修で乗り入れ不可能となるため「わかくさ」乗車を余儀なくされるとの見通しから同県では早急に委員会を開き対策を練ることになった。

輸送期間は四月十六日から同二十五日まで十日間、五月六日から七月十一日まで六十七日間（栃木県の未報告をふくむ）を内定、栃木県の報告をまって、植付け作業に入ることになった。②その他については高橋事務局長から十一月上旬、現地研修会を開きたいむね提案あり、具体案は事務局で作成することに決定した。

また、大越栃木県中学校修旅部長から、十一月二十五日に宇都宮市で同県の修学旅行研究会を開催することになったと報告、関修委はこれに全面的に協力するほか全修協に対しても後援を要請することを決め午後二時閉会した。

修学旅行の学習効果向上のために



全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

充実した修学旅行
ツーリストをお役立てください

ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として〝修学旅行映画〟シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

入賞作品きまる

研修旅行写真コンクール

推薦作は杉、川原氏

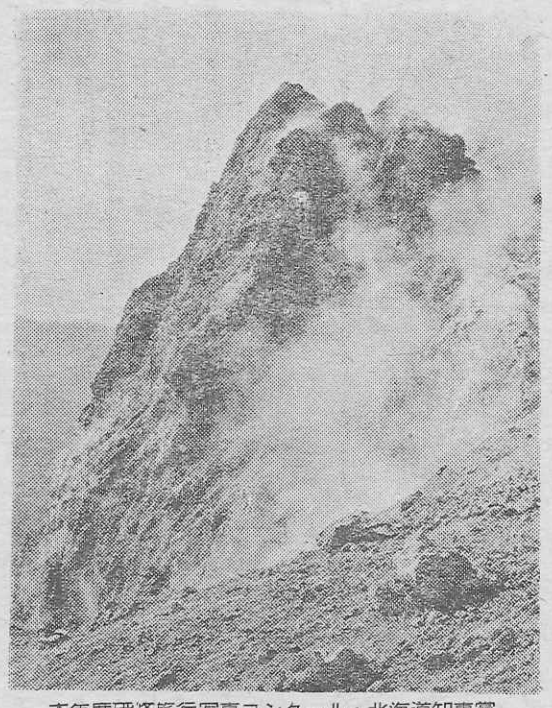
北海道知事賞　太田、帆足氏が獲得

第十五回本年度研修旅行写真コンクールの応募作品はカラー三百八十五点、白黒二百一点の計五百八十六点に達し、昨年を大きく上回わり、写真コンクールの人気をはっきり示した。作品はいずれも力作揃いで優劣を決めがたく、十月十二日全修協本部事務局で行なわれた審査会でも難航した。

総評および入賞作品は次の通り。（敬称略）

総評　すばらしい進境しめす

ことしは色彩も構図も、また題名も非常によくなったのが特色で審査員みなうれしく思った。ただそのなかに難点の指摘されるものもいくつかあった。例えば人物をいれるばあい、記念撮影的なものになりやすいことで、風景のなかに溶けこますことを考えねばならない。また、多くの被写体に欲を出しすぎて散漫になった作品も多かった。研修旅行のばあい、各地の特色をとらえることに心がけたい。カラー写真はとくにトレーミングが重要なポイントであるが、とかく写真屋まかせになり勝ちである。よい作品に完成させるためにはこの労を惜しんでなるまい。



本年度研修旅行写真コンクール・北海道知事賞（白黒作品）「昭和新山」帆足篤治氏（福岡）

カラーの部

▼推せん（一名）賞状と賞金七千円。

「真夏の砂丘」埼玉県越谷市袋山字三田方一二六―六、杉明代（関原小）

【評】とかく平凡になりがちな砂丘をみごとに、しかも美しくとらえている。人物の配置、遠方の海の線などコントラストがよい。推賞に価する作品である。

▼特選（一名）賞状と賞金五千円

「噴煙」静岡県富士市和田町一―四五、内田貫一（吉原工高）

▼入選（二名）賞状と賞金二千円ずつ。

「黒四のバケツ」愛媛県越智郡大三島町明日、藤原秀晴（大三島中）

「蔵王のおかま」東京都八王子市打越七六、高野一重（由井一小）

北海道知事賞

（一名）賞状と記念品。

「朝の洞爺湖」三重県鈴鹿市磯山町三六〇八―二、太田久次（三重県理科教育センター）

▼佳作（十五名）賞状と記念品

「大雪山の流れに」関カネ子（静岡）「マリモを見る」加藤正太郎（東京）「蒼れゆく洞爺湖」平藤俊雄（兵庫）「北海道の印象」太田久次（三重）「ひとときのアイヌ人」木村一雄（奈良）「雲上」江口四郎（佐賀）「テルテル坊主有難う」柳下芳（都島工高）「さいはての地のSL」鈴木博（埼玉）「拓本を採る男」河野好博（兵庫）「わんこそば」篠田清治（埼玉）「真珠の誕生」大木むめの（東京）「松本城」新井昭（千葉）「この炎天下で苦労様です」杉真一（埼玉）「待ッテマシタ」島津仙郎（東京）「小さな滝」高野一重（東京）

白黒の部

▼推せん（一名）賞状と賞金七千円。

「総持寺の印象」福岡県中間市唐戸町六組、川原裕（中間北中）

【評】山寺の概図がよい。木立があまりにも黒っぽいのは引伸しの露出が堅すぎるためで、そのほかの難点はないけれども、もっとピントをシャープにしたらさらに効果があがったことだろうと惜しまれる。なお、印画紙は二号を用いればよかった。

▼特選（一名）賞状と賞金五千円。

「明神参り」埼玉県川口市青木町三―三六〇、吉野てい子（並木小）

▼入選（二名）賞状と賞金二千円ずつ。

「函館山より」静岡県富士市和田町一―四五、内田貫一（吉原工高）

「酒船石の由来」埼玉県川口市青木町三―三六〇、吉野てい子（並木小）

北海道知事賞

（一名）賞状と記念品。

「昭和新山」福岡県嘉穂郡穂波町忠隈二二一、帆足篤治（飯塚一中）

▼佳作（十五名）賞状と記念品

「アイヌの踊り」加藤ハル（東京）「たいへんですね添乗員さん」杉真一（埼玉）「平泉文化の面影」吉澤隨聖（滋賀）「出発前」内田貫一（静岡）「月寒にて」同「峠の憩い」村野充郎（静岡）「モロコシを噛る女先生」同「アイヌメノコを囲んで」同「ジンギスカン鍋を囲んで」同「黒四ダム」川原裕（福岡）「鬼ヶ城」秋吉良子（長崎）「白しぶき」同「あっ魚が」同「漁船帰る」河野好博（兵庫）「石仏を尋ねて」吉野てい子（埼玉）

研修旅行文芸作品

和城遊行

飛鳥・柳生・京都③

井上酉三

国宝に指定されたる信貴山の縁起絵巻は
この寺の中興隆盛に尽したる
命運大徳の
法験をえがいて巻は三つな
中に名高き飛倉巻

柳生の里の円成寺
重文大日如来像
運慶十七、八歳の真作で
東大寺仁王像にと発展の
彫刻的の誕生を
示して正に余りあり

○

洛北大原の三千院
往生極楽院の観世音、勢至菩薩の
二脇像
珍らしく正座ましまし
今の世の人の姿にさも似たり
「思いきや深山の奥にすまいして
雲居の月をよそに見むとは」
一門衆生の冥福と
成正覚を祈りつつ

建礼門院のご他界されし寂光院
「大原御幸」は読む人の
心を誘う物語
平安の初期にはじまる大覚寺
嵯峨天皇の由緒にて
所も同じ嵯峨と呼ぶ
後宇多上皇の仙院で
この後の皇統大覚寺
鎌倉南北百年間
対立したる持明院
南北朝の合一は千三百九十二年
ご譲位のありしはこの正寝殿
高雄の山の神護寺に
隆信筆の肖像画
頼朝公の俤
作は武将の面影躍如たり

「鳥獣戯画」は鳥羽僧正
数ある高山寺国宝の
最も知られる逸品で
兎、猿、蛙、狐のおどけたる
様をえがいて全四巻
正に生げるを見る如し
高雄、槙ノ尾、栂尾と
秋の眺めもさぞかしと
紅葉のころぞしのばるる

（飛鳥・柳生・京都コース参加者・三島市南田町）

コタン（川柳）

成田風足

駅弁は口に合わない越後人
学校も家庭も忘れ団体客
スタンプに呼気までかけて捺している
白い花ささげてすがし修道衣
お土産も売って修道尼の微笑
男性にお土産を売り修道尼
豊原牧場持ち主の家見当らず
さいはてに来て勇気づく越後人
シャモの熊鍋ってコタンの大鍋長
食膳の蟹の紅さに思想あるか
駅売りにされて毛ガニが足垂れる
北海道の食通となりマナー忘れ
道産子に嫁ぎ明るさとりもどし

さいはての国

黒川天源

函館山
夏虫や連れを離れて夜景見る
白老
木彫熊の売り声を避け水菓購う
登別
汗にじませ湯元を覗く女の背
月寒
泡立たぬビールが誘う旅疲れ
大通り公園（札幌）

地の果てに来を作れる土性骨
さいはてに思う土は生きている
夏はギンギラ無番地の風にふるえ
アイヌ開化ずれば純粋性が失せ
民話悲しアイヌは混血化され
原始林は切り緑は愛しましょう

（北海道Aコース参加、新潟県村上市）

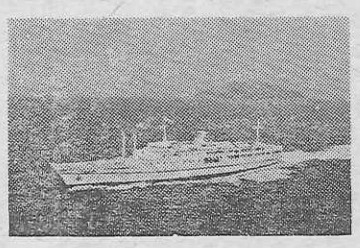
蟹をむく女の指の白い夏
阿寒

蒼黒き航跡落の崖迫る
昭和新山
浴客塔カメラが西日はね返す
洞爺洞
絣縞き浴衣洞爺の湖明ける
砂湯
砂掘れば湯の湧く湖畔夏休み

（北海道Bコース参加、栃木県鹿沼市）

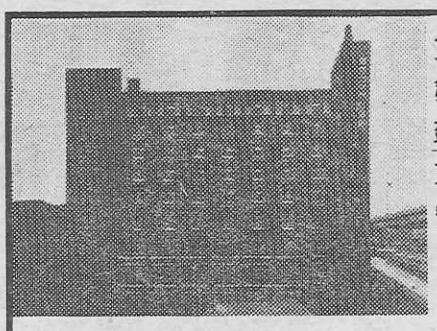
若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸（旅客定員 1,800名 3,000トン）



見ているだけで、心が大きく広がる海――
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。
●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講義用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店　東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

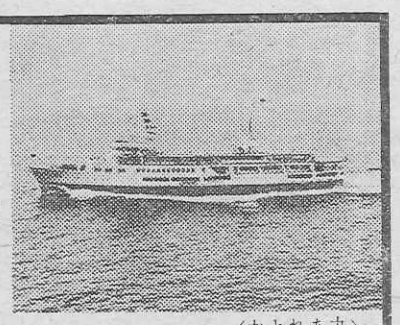
東京 コマ旅行会館

静かな湖畔の宿
47年3月1日オープン
《予約受付中》

〈収容〉800名様
〈浴場〉1時に150名
〈設備〉全館冷暖房
〈防災〉各設備完備
〈食堂〉550名席

びわ湖旅行会館
大津市におの浜3丁目
ビワコ・エースレーン内
びわ湖旅行会館開設準備室
電話 大津 0775－24－2521(代表)

校外学習に生きた教材の宝庫
国立公園
伊豆大島
■海洋学の習得■島の理科・地理・歴史の学習■保健体育にも



〈かとれあ丸〉

《かとれあ丸》は
・2,300トンの豪華大型船
・船内設備は超一流
・船酔いがしない

東海汽船
東京都中央区銀座西8－10
TEL 03 (573) 0241